

令和元年(平成 31 年)度 第 1 回学校運営協議会

2018 年 7 月 5 日

於 会議室

司会：教頭 書記：木南

1. 校長挨拶
2. 協議会委員の挨拶
3. 事務局の紹介

4. 協議会会長の選出

会長：山田 亨

副会長：松井 義明 (敬称略)

5. 会長挨拶

6. 協議項目 (司会：会長)

(1) 平成 30 年度進路結果報告

①：全体について

約 70%弱が四年制大学へ進学。

②：国公立大学

現役生が 2 名、浪人生が 2 名(昨年度実績の 2 倍)

③：私立大学

合格者の延べ人数は例年並みであったが、公募制推薦入試が厳しい現状。

→ 例年は 10 月頃までには進学先が決定していた生徒層が、2、3 月の一般入試まで受験をした結果。

④：専門学校

例年と特に変化はない。専門学校を希望する生徒は医療・看護系をめざす生徒が多いが、近年の傾向として、浪人してでも四年制大学への進学を希望する生徒が増えている。

【質疑応答、意見等】

○会長より

今年度の進路の特徴について意見、感想

私立大学の合格者絞込みの影響で、これまで第一志望としていた大学から、ランクを下げての受験が散見され、一様に玉突き的に難易度が上昇した。

また、新たな入試制度に向けての取り組みが必要。

(2) 平成 30 年度学校評価、平成 31 年度学校経営計画について

■平成 30 年度学校評価

前回(2月)からの追加事項について

①：本年度の取組内容及び自己評価

i：確かな学力の育成と第一志望の進路実現

- ・「わかる授業」「力をつける授業」
 - 学校診断本校教育システム肯定率84%(計画83%以上 評価○)
- ・自学自習の習慣の確立と学習と学校行事や部活動の両立
- ii：豊かな社会性及びたくましく生きる力の育成
 - ・規律ある学校生活
 - 学校側の取組みとして、教員や生徒会によるあいさつ運動、全校集会等での呼びかけを行っている。
 - また、地域との連携による地域貢献が認められ、H31.2.19「こころの再生市民運動」の表彰を受ける。
- iii：生徒の力をしっかり伸ばす学校力の向上
 - ・経験の少ない教員等の育成
 - 香里会（研修会）＋ 学校説明会への参加等（計画5回実施 評価○）
 - ※今年度は定時間内に同様なOJTを実施。
 - 研究授業の実施(計画：初任者2回以上、2年目：1回以上 評価○)
 - アンケート肯定率82%(計画85%以上 評価△)

【質疑応答、意見 等】

○会長より、委員へ

学校と地域の連携・結びつきについて意見、感想

吹奏楽部による演奏会の招待等、学校からの働きかけもあり結びつが強化。

さらに、今年度より「みまもり隊」による通学指導をコミュニティ全体で開始。

○委員より、事務局へ

香里会（若手教員育成研修会）の設立の過程について質問

A: 若手教員が増えていく現状を鑑み、初任者を中心に学業務について、様々な観点による教育を行うために開始。

○委員より

蹉跎中学校での若手育成の取り組みについて質問

A: 毎年4人ほどの新任が着任しており、全教諭の3分の1が採用6年以内。若手が多いことにより、仲間意識や教員間の結びつきも強化というメリットも考えられ、3年目の教員が、初任の教員を教育するメンター制度の導入も検討している。

○副会長より

創価小学校での若手育成の取り組みについて質問

A: 全教員で32名ほど。公開授業等を積極的に行うことで、教員間での学びあい、教えあいの体制を作っている。プログラミングや英語の授業に関して、今後どのように研修を行うか検討中。青年研や初任研など、事務も含めた様々な角度からの研修を実施している。

■平成31年度学校経営計画について

説明部分について抜粋して記載

①：中期的目標

i : 確かな学力の育成と第一志望の進路実現

・主体的・対話的で深い学びの視点

→ 1年生で今年度より「総合的な探究」、課題研究を実施。枠組みはなく、グループでテーマを決め、自分たちで調べて何らかの成果を目指す。(今年度の学年テーマは「いのち」)

※アクティブコースではすでに実施。教員向けの研修も実施。

→ 自学自習の習慣の確立と学習と学校行事や部活動の両立

→ 授業以外の時間も有効に活用して指導を行い、自学自習の習慣をつけ、学力向上を目指す。

ii : 豊かな社会性及びたくましく生きる力の育成

・人権教育、国際理解教育

→ 国際交流委員会を発足。今年度、8月に香港より高校生を本校へ誘致。

→ 2020年3月には10~15名の生徒を引率して、グアムへの研修旅行を予定。

iii : 開かれた学校づくり

・11月1日、シンフォニーホールにて「創立40周年記念式典」を予定。

※吹奏楽部による演奏や、生徒による司会等、生徒の発表の場も設ける。

② : 本年度の取り組み内容および自己評価

全体的に前年度の目標よりも微増で設定。

【質疑応答、意見 等】

○会長より、事務局へ

1年生実施の「探究」の発表計画についての質問

A : 1年間の成果として、体育館でのポスターセッションを予定している。

○会長より

「探究」の意義についての意見

時代が大きく変化していく中で、探究していく力は大事である。また、そういった探究を積み重ねていくなかで、危機や想定外の事態に立ち向かう力、自分の身を自分で守る力を身に付けていって欲しい。

○事務局より

アクティブラーニングの取り組みについて報告

Webサービスの利用を開始。1学期期末考査後より、各教員のID・パスワードを発行。積極的な活用を行っていく。

7. 校長謝辞